

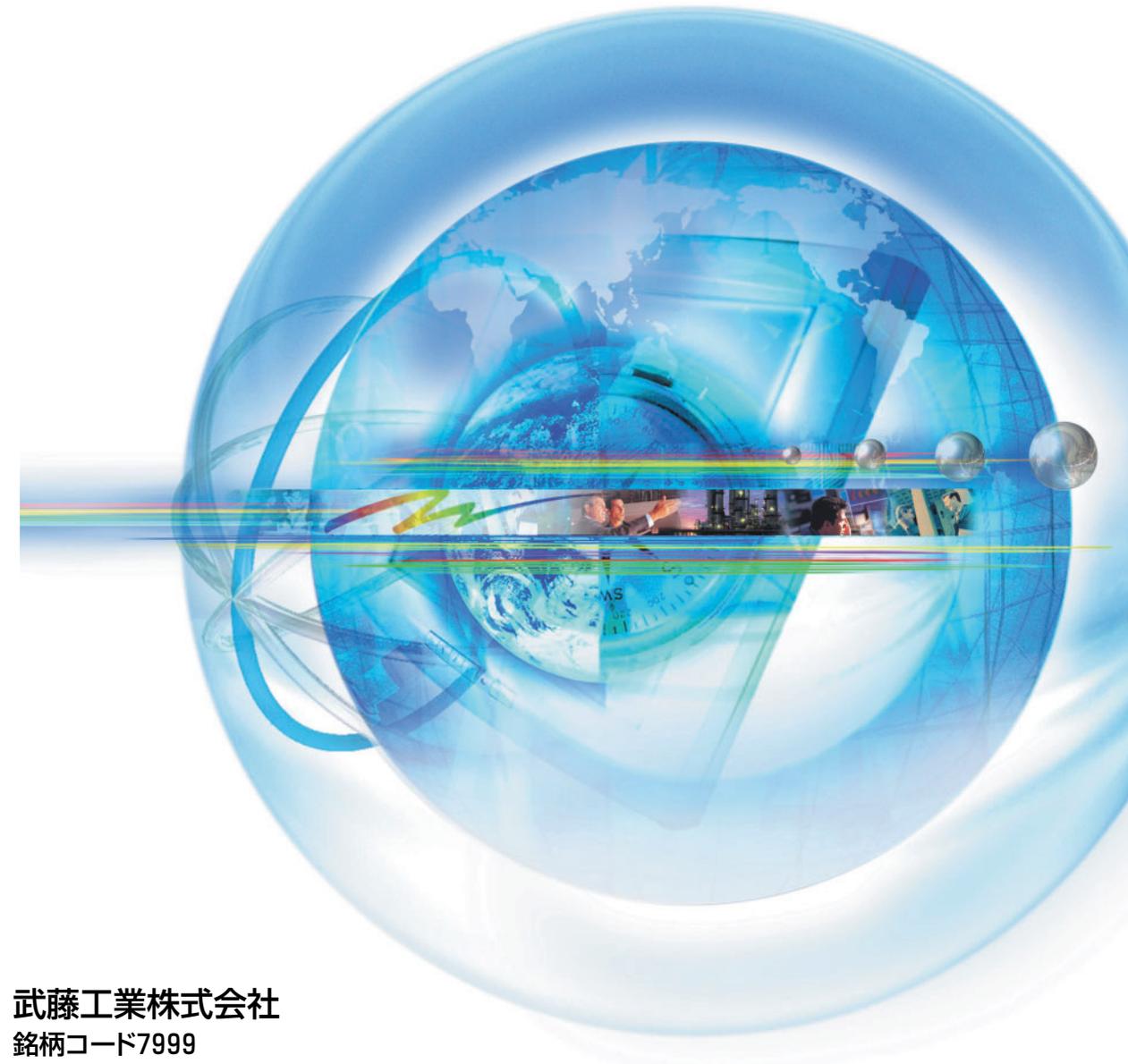
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当の基準日	毎年3月31日
中間配当の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
名義書換手数料	無 料

(お知らせ)

・住所変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人の下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



コーポレートメッセージ
創造、大切にします

●●● 経営理念 ●●●
人間を尊重する
社会に貢献する・常に先んずる

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第58期中間報告書をお届けいたします。

当中間期の業績は、子会社と関連会社の合併等もあり、連結売上高は143億47百万円（前年同期比4.3%増）となりました。また、利益面では採算効率のよい新製品の投入や営業費用の圧縮に努めた結果、当初予想を上回り、連結経常利益は9億92百万円（前年同期比32.7%増）、連結純利益は5億40百万円（前年同期比23億26百万円の改善）となりました。

CONTENTS

連結決算ハイライト…………… 1
持株会社体制への移行について…………… 2
事業セグメントの概況
情報画像関連機器事業…………… 3
情報サービス事業／その他事業…………… 4
トピックス…………… 5
新製品…………… 6
財務諸表
中間連結財務諸表…………… 7
中間個別財務諸表…………… 9
会社の概要／役員／株式の状況…………… 10

連結決算ハイライト

○連結売上高
第58期中間 **14,347**百万円

第55期	第56期	第57期
26,501百万円	28,974百万円	28,612百万円
中間 12,900百万円	中間 14,690百万円	中間 13,751百万円

○連結経常損益
第58期中間 **992**百万円

第55期	第56期	第57期
1,049百万円	1,416百万円	1,481百万円
中間 444百万円	中間 840百万円	中間 748百万円

○連結当期純損益
第58期中間 **540**百万円

第55期	第56期	第57期
622百万円	690百万円	△982百万円
中間 223百万円	中間 525百万円	中間 △1,785百万円

○連結総資産額
第58期中間 **28,333**百万円

第55期	第56期	第57期
28,532百万円	29,464百万円	27,683百万円

○連結純資産額
第58期中間 **18,423**百万円

第55期	第56期	第57期
17,386百万円	18,262百万円	17,529百万円

通期の業績予想

当社グループ製品の世界における市場環境はますます競争が激しくなっており、収益性の向上を優先課題として、情報画像関連機器事業では引き続き国際競争力のある低コストの大判インクジェットプリンタの開発と市場投入、また、情報サービス事業では採算性のよい自社ブランドCADソフト拡充に努めてまいります。

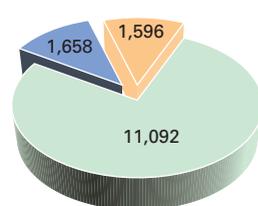
単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純損益
連結業績予想	28,500	1,700	900
単独業績予想	15,500	250	300

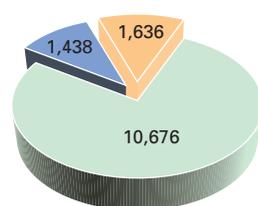
中間期事業別セグメント
売上高比率(百万円)

情報画像関連機器事業 情報サービス事業
その他事業

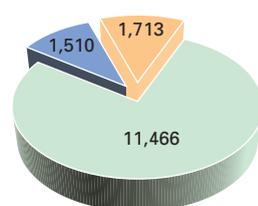
・第58期 **14,347**百万円



・第57期 **13,751**百万円



・第56期 **14,690**百万円



持株会社体制への移行について

MUTOHは、2007年4月1日より持株会社体制に移行いたします

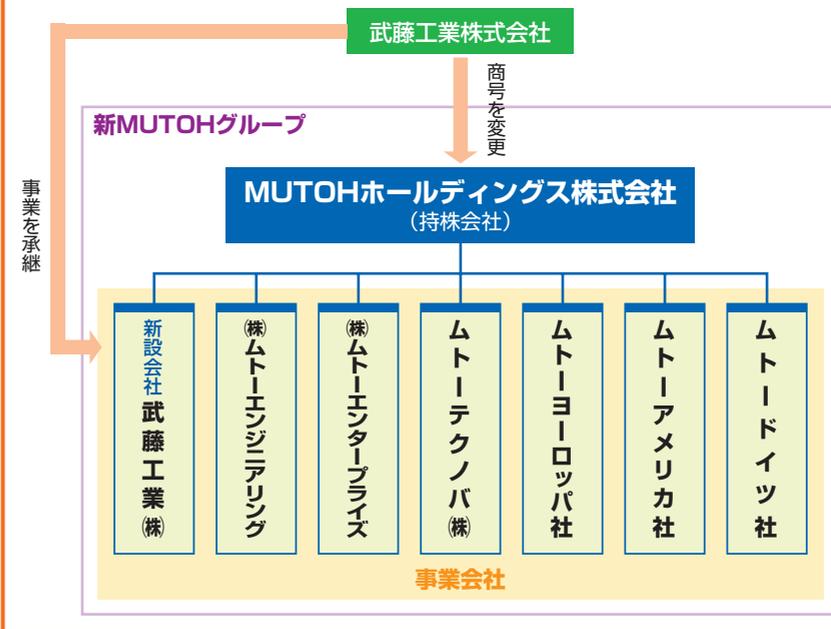
当社グループを取り巻く市場は、ビジネス環境の変化と技術革新の大きな変革期に差し掛かっており、市場環境の変化に対応し、お客さまに最適な提案と最高の価値を提供することが求められております。

当社グループは、このような市場や経営環境の変化に対応するため、会社分割により「グループ経営機能」と「事業執行機能」を明確に分離する持株会社体制に移行し、グループ企業価値向上に向けた経営体制の整備をおこなうことといたしました。

新経営体制のもと、MUTOHブランドの価値向上・拡大に一層努めてまいります。

新体制概略図

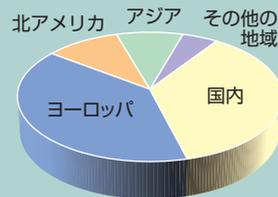
現 武藤工業(株)は2007年4月1日より 持株会社「MUTOHホールディングス(株)」として、MUTOHグループ企業各社の経営を統括してまいります。
これにより、現在の武藤工業(株)の事業を承継する形で設立される 新 武藤工業(株)を加えた新たなMUTOHグループ経営体制がスタートいたします。



* 本件は2006年12月20日開催予定の臨時株主総会において承認されることを前提としています。



地域別売上高構成



概況

大判インクジェットプリンタを中心とした情報画像関連機器事業では、新製品への切り替えのための在庫調整をおこなった日本および北米市場での売上高が減少したものの、欧州市場では売れ筋製品の大型化に加え為替の影響が大きく貢献したこともあり売上高が増加いたしました。アジアや中近東市場では欧州市場と同様に、韓国やインドを中心に大型の新製品が順調に推移し売上高は増加いたしました。その結果、連結売上高は110億92百万円（前年同期比3.9%増）となりました。また、利益面では、コスト効率の良い新製品の投入や為替の影響もあり、営業利益は大きく改善し7億17百万円（前年同期比79.7%増）となりました。

世界戦略機

新ブランド低溶剤インクジェットプリンタ「バリュージェット」シリーズラインアップ



VJ-1204 1200mmプリント



VJ-1604 1600mmプリント



VJ-2606 2600mmプリント

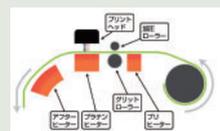
- エントリーレベルから本格出力までカバー
- ラミネート加工なしで、3年相当の耐候性と高い耐擦過性を可能にする屋外・屋内印刷物用大型フルカラーインクジェットプリンタ



高性能インクの傑作、Valuejetインクを採用
環境に優しいインクでありながら、強固な耐擦過性を発揮
UV試験で、3年相当に該当する耐候性を実証しています



新機能ウェーブプリント
プリントヘッド稼動方向の横筋（バンディング）をウェーブ（波）型に構成することでインクジェットの欠点といわれていた横筋を目立たなくしました



安定した作画品質を約束する3段階ヒーターを標準装備
インクの能力を最大限に引き出す、プリ、プラテン、アフターと3ヶ所にヒーターを搭載。プリヒーターは事前にメディアを温め、プラテンヒーターはインクの吸着をよくして作画品質を向上させ、アフターヒーター（乾燥装置）は作画後の乾燥に能力を発揮します

Valuejet 世界統一ブランド（グラフィック大判プリンタ）



概況

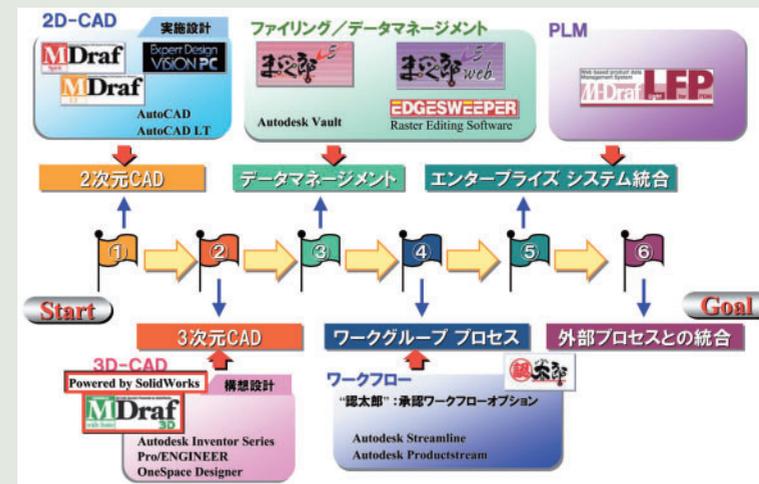
CAD用ソフトウェア事業では、採算性のよい製造業向け自社ブランドソフト「M-Draf」シリーズの新製品投入など、積極的に収益性の向上をはかりました。また、ソフトウェア受託開発を主事業とする子会社・関連会社2社の合併などソリューション事業の効率化を推進いたしました。その結果、情報サービス事業の売上高は16億58百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は67百万円（前年同期比76百万円の改善）となりました。

設計から生産までトータルサポートで「モノ創り」を徹底支援

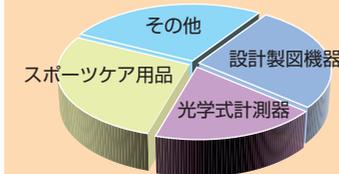
STEP BY STEPで「ONE STOP SUPPLY」を構築

設計情報をフル活用して、企業経営に活かすために、設計ツールから生産、さらにはデータマネジメント確立のためのさまざまな製品をラインアップ

これらの製品群をバックボーンにさまざまな部署・部門で活用することを積極的に提案し、無理なく段階的に導入することで業務フローや仕事の質を画期的に改革し、お客さまの成長を力強くサポートします



事業別売上高比率



概況

その他の事業は「設計製図機器」、「光学式計測器」、「スポーツケア用品」、「書籍・文具店などの店舗」などの安定した事業で構成されており、売上高は15億96百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は1億44百万円（前年同期比19.1%増）となりました。



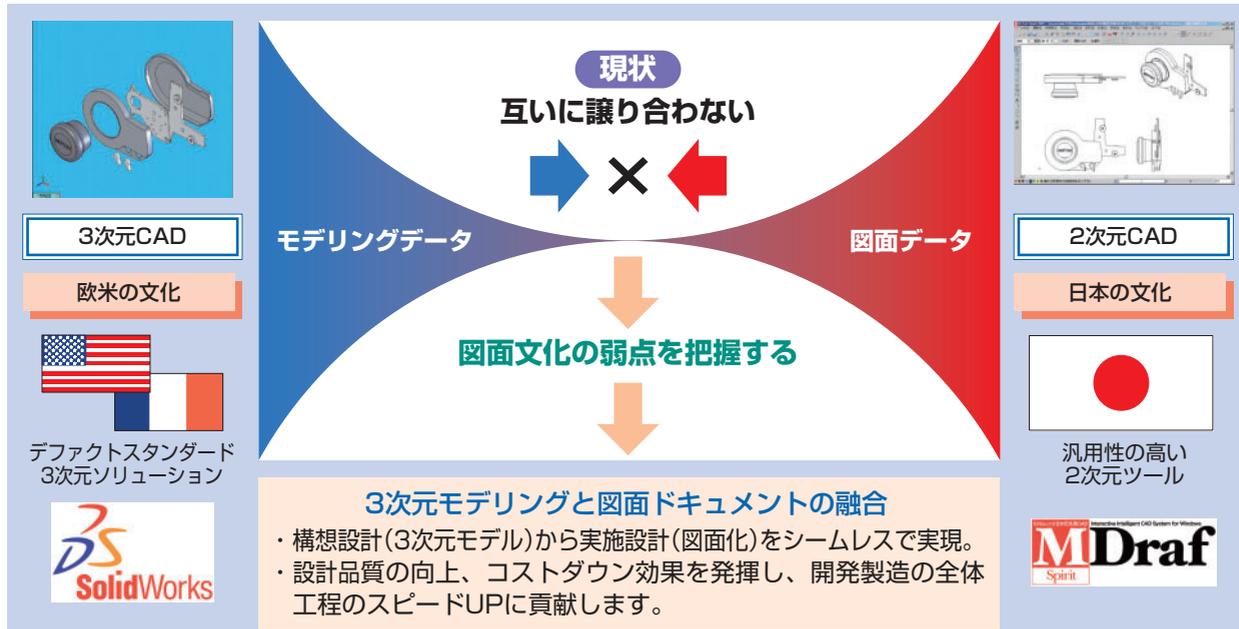
SolidWorks (ソリッドワークス) 社と業務提携



日本で初めてとなるビジネスモデル
ミドルレンジ3D-CAD「SolidWorks」エンジンをMUTOHにOEM供給

設計環境はグローバルで3次元化が進行している中、日本市場の70~80%は2次元CADを併用し、3次元CADへの対応に苦慮しています

MUTOHは3次元モデルと日本独自の2次元図面間の滑らかなデータ連携を実現し、ユーザーニーズにお応えします



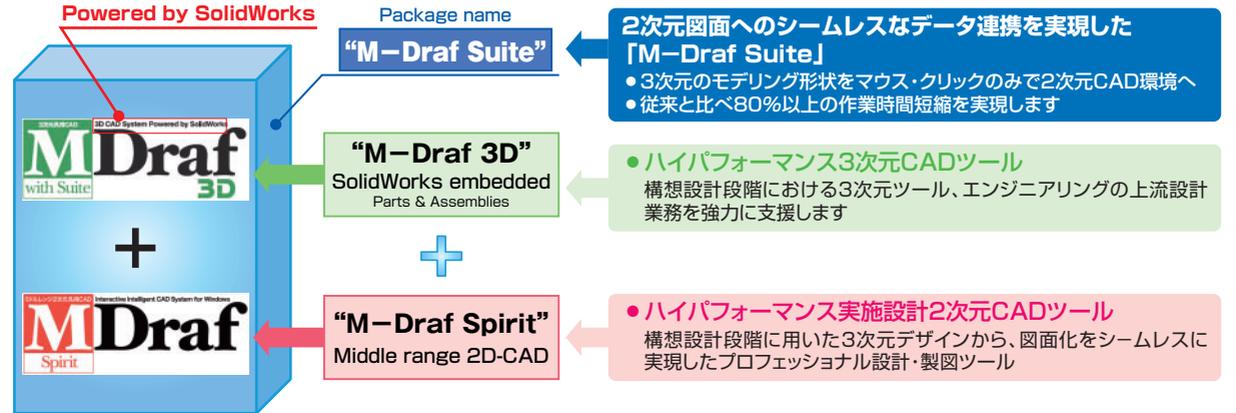
ソリッドワークス社

ソリッドワークス社は、(株)ダッソー・システムズ社の100%子会社で、Windows完全対応の機械系3次元CAD「SolidWorks」の開発および販売・サポートをおこなう会社として1993年に設立。

1995年末からその製品である「SolidWorks」を市場に投入し現在では、設計者向け解析ソフトウェア「COSMOS」関連製品を含め、メインストリームの機械系3次元設計ツールで飛躍的な成長を遂げている。

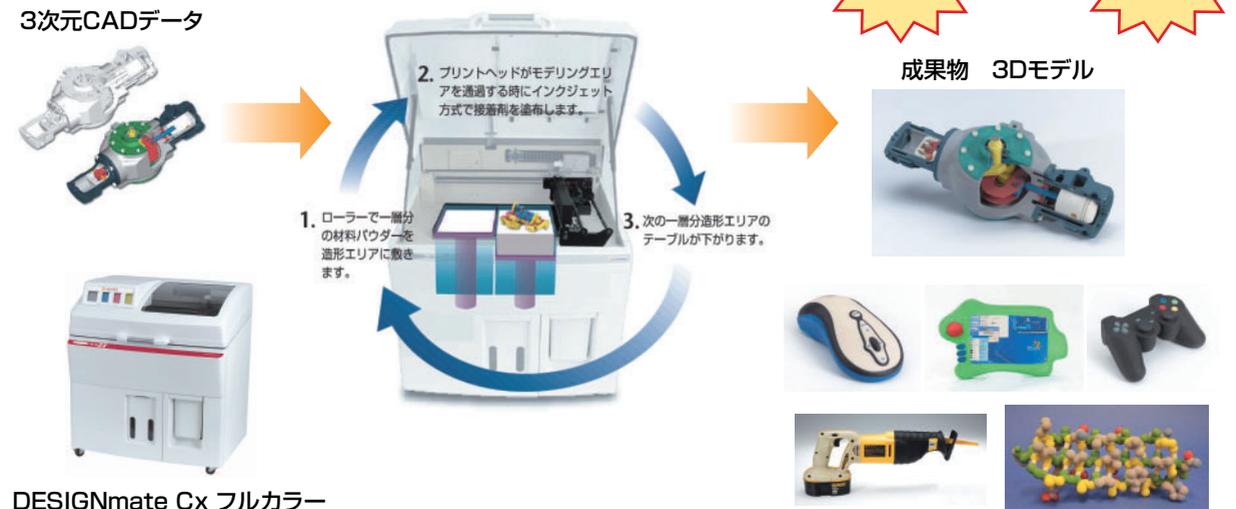
「M-Draf」シリーズにミドルレンジ3次元CAD新登場

上流工程から下流工程までの設計・製造ステージをフルカバー



3次元造型機 3DPrinter「DESIGNmate」

3次元CADで作成したモデリングデータから高速かつ簡単に試作モデルを作成



■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期 別		
	当期中間期末 平成18年9月30日現在	前期中間期末 平成17年9月30日現在	前 期 末 平成18年3月31日現在
資産の部			
流動資産	19,432	18,983	18,814
現金および預金	7,990	8,032	7,192
受取手形および売掛金	6,618	6,411	6,764
たな卸資産	4,503	4,346	4,514
その他	319	192	343
固定資産	8,901	9,003	8,869
有形固定資産	7,075	7,183	6,977
無形固定資産	155	159	144
投資その他の資産	1,670	1,660	1,747
投資有価証券	1,092	1,051	1,181
その他	577	608	566
資産合計	28,333	27,987	27,683

(単位：百万円)

科目	期 別		
	当期中間期末 平成18年9月30日現在	前期中間期末 平成17年9月30日現在	前 期 末 平成18年3月31日現在
負債の部			
流動負債	6,303	6,802	6,488
支払手形および買掛金	3,686	3,626	4,179
短期借入金および 一年以内返済長期借入金 その他	413	898	147
固定負債	2,203	2,277	2,162
長期借入金	3,606	4,715	3,665
その他	1,037	2,200	1,352
負債合計	2,568	2,514	2,312
負債合計	9,909	11,517	10,154
少数株主持分			
少数株主持分	—	—	—
資本の部			
資本金	—	10,199	10,199
資本剰余金	—	4,592	4,592
利益剰余金	—	3,176	3,980
その他有価証券評価差額金 為替換算調整勘定	—	296	388
自己株式	—	△ 1,161	△ 993
自己株式	—	△ 634	△ 638
資本合計	—	16,469	17,529
負債・少数株主持分および資本合計	—	27,987	27,683
純資産の部			
株主資本	18,554	—	—
資本金	10,199	—	—
資本剰余金	4,182	—	—
利益剰余金	4,903	—	—
自己株式	△ 730	—	—
評価・換算差額等	△ 441	—	—
少数株主持分	309	—	—
純資産合計	18,423	—	—
負債・純資産合計	28,333	—	—

「株主資本等変動計算書」について

平成18年5月1日施行の会社法に伴い、「株主資本等変動計算書」が新設されました。これは、「貸借対照表」で新設された「純資産の部」の中で、主に株主の皆様へ帰属する株主資本等について、その1会計期間における変動事由と変動額をご報告するために作成する計算書類です。

■ 連結株主資本等変動計算書

当中間期（自平成18年4月1日 至平成18年9月30日）

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	10,199	4,592	3,980	△ 638	18,134	△ 605	—	17,529
中間連結会計期間中の変動額								
資本剰余金取崩額	—	△ 410	410	—	—	—	—	—
持分法適用除外による剰余金減少額	—	—	△ 27	—	△ 27	—	—	△ 27
中間純利益	—	—	540	—	540	—	—	540
自己株式の取得	—	—	—	△ 92	△ 92	—	—	△ 92
自己株式の処分	—	—	—	0	0	—	—	0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額	—	—	—	—	—	163	309	473
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△ 410	923	△ 92	420	163	309	894
平成18年9月30日残高	10,199	4,182	4,903	△ 730	18,554	△ 441	309	18,423

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期 別		
	当中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	前中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日	前 期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
経常損益の部			
売上高	14,347	13,751	28,612
営業利益	933	510	1,157
経常利益	992	748	1,481
特別損益の部			
税金等調整前中間(当期)純利益(△純損失)	946	△ 1,542	△ 504
中間(当期)純利益(△純損失)	540	△ 1,785	△ 982

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

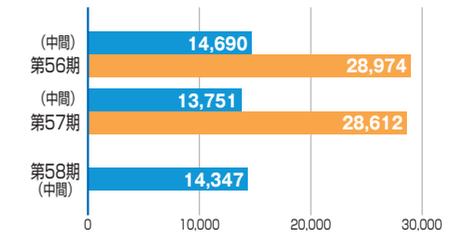
(単位：百万円)

科目	期 別		
	当中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	前中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日	前 期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	948	1,060	1,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 103	△ 52	△ 133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 198	△ 90	△ 1,692
現金および現金同等物に係る換算差額	97	△ 20	38
現金および現金同等物の増減額	744	898	58
現金および現金同等物の期首残高	7,192	7,133	7,133
連結子会社の合併に伴う現金および現金同等物の増減額	53	—	—
現金および現金同等物の中間期末(期末)残高	7,990	8,032	7,192

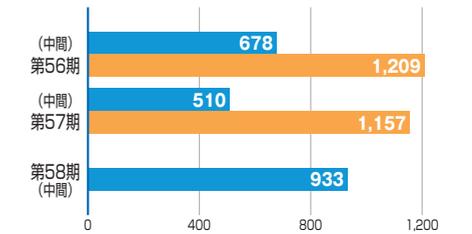
■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名（ ）内は持分法適用会社
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・(株)ムトーエンジニアリング・ムトーヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・(株)コスモ
情報サービス事業	武藤工業(株)・ムトーテクノバ(株)・(株)ムトーエンジニアリング・(ムトーメカトロニクス(株)・(株)デジタルマトリックス)
その他事業	(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーエンタープライズ

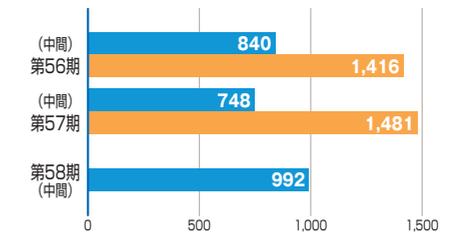
売上高の推移 (単位：百万円)



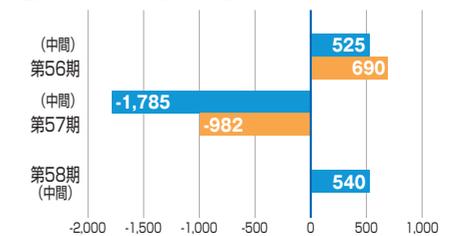
営業損益の推移 (単位：百万円)



経常損益の推移 (単位：百万円)



当期純損益の推移 (単位：百万円)



中間個別財務諸表

■ 個別貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		
	当期中間期末 平成18年9月30日現在	前期中間期末 平成17年9月30日現在	前期末 平成18年3月31日現在
資産の部			
流動資産	11,455	13,236	12,022
固定資産	8,908	9,026	9,153
有形固定資産	5,053	5,436	5,161
無形固定資産	120	135	117
投資その他の資産	3,734	3,454	3,874
資産合計	20,364	22,262	21,176
負債の部			
流動負債	3,728	4,677	4,217
固定負債	2,383	3,871	2,825
負債合計	6,111	8,548	7,043
資本の部			
資本金	—	10,199	10,199
資本剰余金	—	4,592	4,592
利益剰余金	—	△ 741	△ 410
その他有価証券評価差額金	—	294	385
自己株式	—	△ 630	△ 634
資本合計	—	13,714	14,132
負債・資本合計	—	22,262	21,176

■ 個別損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別		
	当中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	前中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日	前期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
経常損益の部			
売上高	7,414	7,909	16,712
営業利益(△損失)	△ 99	△ 88	△ 239
経常利益	93	191	280
特別損益の部			
税引前中間(当期)純利益(△純損失)	94	△ 1,083	△ 723
中間(当期)純利益(△純損失)	243	△ 1,163	△ 832
中間(当期)未処分利益(△損失)	—	△ 741	△ 410
純資産の部			
株主資本	13,898	—	—
資本金	10,199	—	—
資本剰余金	4,182	—	—
利益剰余金	243	—	—
自己株式	△ 726	—	—
評価・換算差額等	355	—	—
純資産合計	14,253	—	—
負債・純資産合計	20,364	—	—

■ 個別株主資本等変動計算書

当中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	10,199	4,592	△ 410	△ 634	13,746	385	14,132
中間会計期間中の変動額							
資本剰余金取崩額(注)	—	△ 410	410	—	—	—	—
中間純利益	—	—	243	—	243	—	243
自己株式の取得	—	—	—	△ 92	△ 92	—	△ 92
自己株式の処分	—	0	—	0	0	—	0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額	—	—	—	—	—	△ 30	△ 30
中間会計期間中の変動額合計	—	△ 410	653	△ 92	151	△ 30	120
平成18年9月30日残高	10,199	4,182	243	△ 726	13,898	355	14,253

(注)平成18年6月の定時株主総会における損失処理項目であります。

会社の概要

(平成18年9月30日現在)

商号 武藤工業株式会社
MUTOH INDUSTRIES LTD.
設立 1952年(昭和27年)3月5日
資本金 101億99百万円
従業員数 216名
主な事業所 本社：東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
営業所：東京、大阪、名古屋
工場：諏訪
主な営業品目 ●情報画像関連機器事業
グラフィックアーツ用大判インクジェット
プリンタ、CAD図面出力用プロッタ、

業務用特殊プロッタ、イメージスキャナ、
関連サプライ品
●情報サービス事業
CADシステムおよび関連ソフトウェア、
システムインテグレーション、ソフト開発

ホームページ <http://www.mutoh.co.jp>

役員

(平成18年9月30日現在)

取締役会長 高山 允 伯 取締役 佐藤 敏 明 常勤監査役 白土 剛 正
代表取締役社長 加賀 市 喜 取締役 アーサー・バンハウテ 監査役 小林 康 男
常務取締役 早川 信 正 取締役 服部 吉 格 監査役 徳納 恭 紀

株式の状況

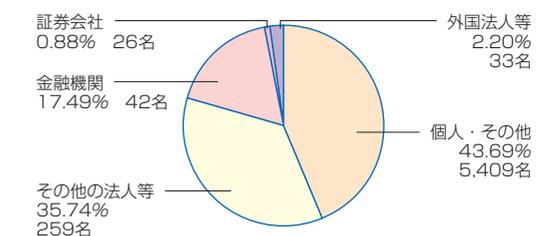
(平成18年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 170,000,000株
■ 発行済株式総数 54,818,180株
■ 1単元の株式数 1,000株
■ 株主数 5,769名
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,200	25.8
武藤 栄 次	2,900	5.6
武藤 洋	2,513	4.9
株式会社みずほ銀行	2,121	4.1
武藤工業協力企業持株会	1,848	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (CMTBエクイティンベストメンツ株式会社信託口)	1,457	2.8
第一生命保険相互会社	1,359	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,094	2.1
武藤 郁 子	988	1.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	913	1.7

(注)自己名義株式は3,006千株となっております。自己名義株式は議決権がないため、上表の大株主には含めておりません。

■ 所有者別分布状況



■ 所有株式数別分布状況

